

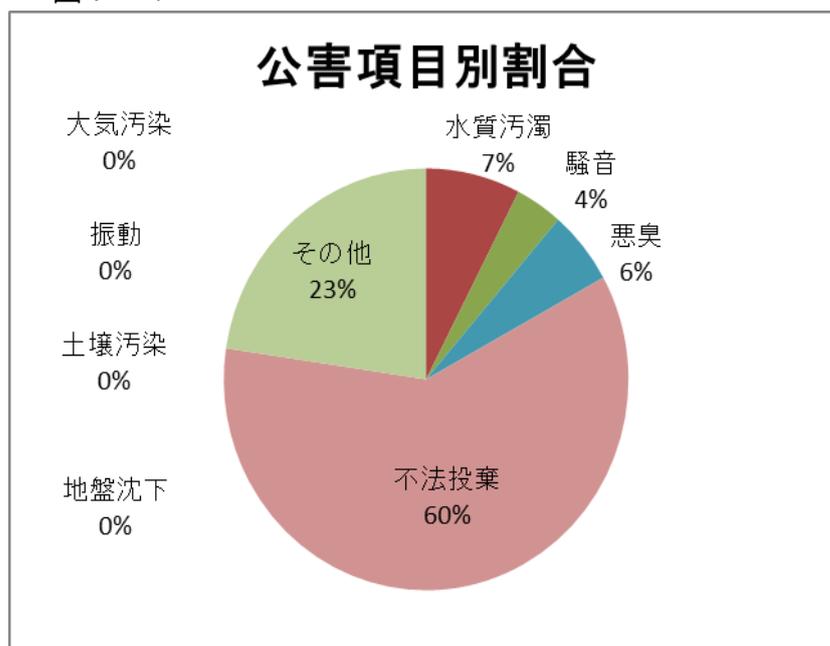
7 公害苦情発生状況

平成28年度に受け付けた公害苦情は53件であった。このうち、典型7公害(大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)に係るものが9件、その他のものは44件であり、その内訳は次のとおりであった。

表7-1

分類	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	0
	水質汚濁	4
	騒音	2
	振動	0
	悪臭	3
	土壌汚染	0
	地盤沈下	0
	小計	9
その他	不法投棄	32
	その他	12
	小計	44
合計		53

図7-1

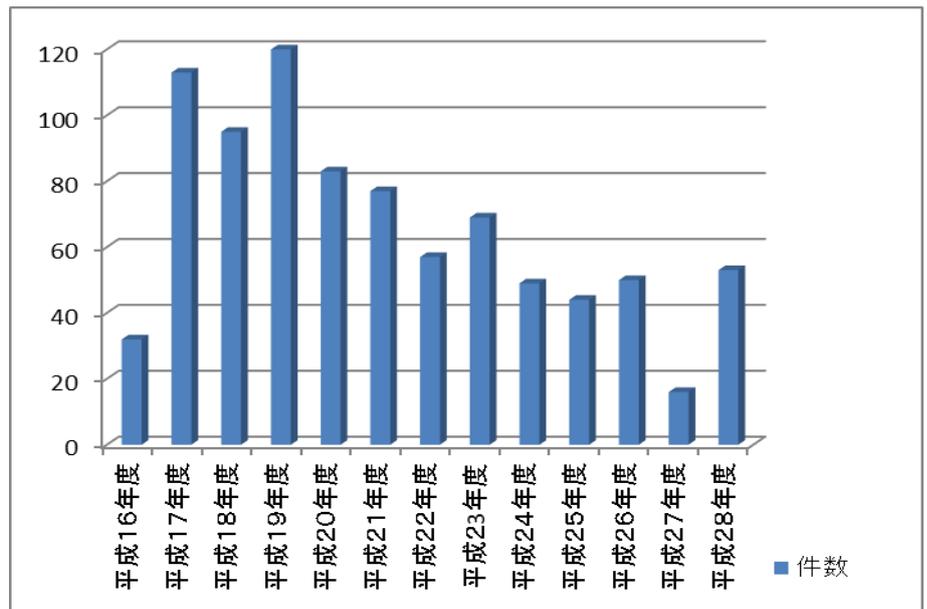


典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「水質汚濁」の4件で、飲食店が原因のものが1件、藻の発生など自然発生したものが3件であった。次に多いのが「悪臭」の3件で、工場・飲食店から出る排水が原因であった。「騒音」は、工場が原因のものと工事現場の重機が原因のものが1件ずつあった。その他、「大気汚染」「振動」「土壌汚染」「地盤沈下」については苦情が無かった。

以上、典型7公害の9件は、割合としては、17%にあたり、典型7公害以外の苦情は全体の83%であった。中でも最も多かったのは、「不法投棄」に関する32件で、うち31件は家庭から出たものだった。

表7-2 年度別苦情件数 図7-2

年 度	件数
平成16年度	32
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49
平成25年度	44
平成26年度	50
平成27年度	16
平成28年度	53



過去13年間の年度別苦情件数は、表7-2及び図7-2に示すとおりである。

近年の動向としては、最も件数が多い平成19年度の120件に比べ半数以下となっているが、平成28年度には前年度の約3倍に増加している。

全体として苦情件数は50件前後となっているが、家庭ごみの不法投棄に関する苦情の割合は6割と高く、市では、不法投棄監視委員によるパトロールや張り紙など対策を強めている。